

令和3年度 食品検査状況

1 残留農薬



令和3年度は、野菜や果実、畜肉等の農畜産物100検体（国産品80、輸入品20）について延べ9,660項目の残留農薬検査を行いました。その結果、100検体中48検体（検出率48%）から延べ92農薬が検出されましたが、食品衛生法に定められている残留基準を超えたものではありませんでした。

残留農薬検査結果の概要

	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	30	3,600	9	1,080	39	4,680
果実	20	2,400	11	1,320	31	3,720
玄米	10	1,200	-	-	10	1,200
畜肉	20	60	-	-	20	60
合計	80	7,260	20	2,400	100	9,660
農薬検出数	33	62	15	30	48	92
検出率(%)	41%	1%	75%	1%	48%	1%
残留基準超過数	0	0	0	0	0	0

2 放射性物質



令和3年度は、流通品の一般食品、牛乳及び乳児用食品、飲用水の200検体、および野生の山菜ときこのこの72検体について放射性物質（放射性セシウム）の検査を行いました。その結果、流通品については200検体中3検体から放射性セシウムが検出されましたが、基準値を超えたものではありませんでした。また、野生山菜（4～6月実施）については56検体中6検体から、野生きのこ（8～10月実施）については16検体中8検体から放射性セシウムが検出され、このうち野生きのこ1検体から基準値を超える放射性セシウムを検出しました。

流通品の検査結果

	検体数	検出数	検出率	基準超過検体数	基準値(Bq/kg)
一般食品	180	0	0%	0	100
牛乳及び乳児用食品	9	3	33%	0	50
飲用水	11	0	0%	0	10
計	200	3	1.5%	0	-

野生山菜・きのこの検査結果

	検体数	検出数	検出率	基準超過検体数	基準値(Bq/kg)
山菜	56	6	11%	0	100
きのこ	16	8	50%	1	100
計	72	14	19%	1	-

3 動物用医薬品



令和3年度は、県内産鶏卵（9検体）、県内産さけ目（2検体）、輸入魚類（4検体）、輸入肉類（牛肉4検体、豚肉2検体）について延べ924項目の動物用医薬品の検査を実施しました。その結果、食品衛生法に定められた基準値を超えたものではありませんでした。

動物用医薬品の検査結果

	品名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産	鶏卵	9	396	基準超過 なし
	さけ目	2	90	
	さけ目	3	135	
輸入	すずき目	1	45	
	牛肉	4	172	
	豚肉	2	86	
合計		21	924	

4 食品添加物

令和3年度は、保存料13検体、酸化防止剤9検体、着色料9検体、甘味料9検体について検査を行いました。その結果、使用基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査の概要

種類	検体数	検査項目	検査結果
保存料	13	安息香酸、ソルビン酸、 パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準違反なし
酸化防止剤	9	tert-ブチルヒドロキノン	
着色料	9	食用赤色2,3,40,102,104,105,106号 黄色4,5号、緑色3号、青色1,2号	
甘味料	9	サイクラミン酸	
合計	40		



5 遺伝子組換え食品

令和3年度は、大豆粒（6検体）を対象に検査を行いました。その結果、安全性審査済み組換え大豆 RRS が検出された食品はなく、表示が適正に行われていることが確認されました。

遺伝子組換え食品（大豆粒）の検査結果

品名	検体数	検査項目	結果
大豆	6	安全性審査済の組換え大豆のRRS検査	不検出

6 アレルギー物質

令和3年度は、「そば」混入のおそれのある食品6検体および「小麦」混入のおそれのある食品4検体（いずれも県内製造）の計10検体について、抗原抗体反応を利用した定量検査法による試験を実施しました。その結果、小麦について陽性となった菓子が1検体ありましたが、「小麦を含む製品を製造している工場」旨の注意喚起表示があり、表示違反ではありませんでした。

アレルギー物質の検査結果（そば）

品名	検体数	そば陽性
中華めん	2	0
ゆでうどん	2	0
うどん生めん	1	0
乾麺	1	0
計	6	0



アレルギー物質の検査結果（小麦）

品名	検体数	小麦陽性
米粉	1	0
菓子	3	1
計	4	1

